

NEC Express5800シリーズ

2

運用・保守編

装置の運用および保守について説明します。

日常の保守 (88ページ)

日常使う上で確認しなければならない点やファイルの管理、クリーニングの方法について説明します。

システム診断 (91ページ)

診断ユーティリティの使い方について説明します。

障害時の対処 (94ページ)

故障かな?と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています。

保守ツール (102ページ)

保守ユーティリティの使い方について説明します。

移動と保管 (105ページ)

本体を移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。

ユーザーサポート (106ページ)

本製品に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスはNEC、およびNECが認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用ください。

日常の保守

装置を常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

アップデートの確認・適用

Express5800シリーズでは、本体および周辺機器のBIOS、FW（ファームウェア）、ドライバなどのアップデート情報を弊社Webサイトの以下のページに掲載しています。システムの安定稼働のため、常に最新のアップデートを適用いただくことをお勧めいたします。

NEC コーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)
[サポート・ダウンロード]-[ワークステーション]




- 最新アップデートのダウンロードおよび適用作業は、お客様自身で実施ください。
- 最新アップデートの適用にあたっては、万一の場合に備えて、適用前にデータをバックアップしておくことをお勧めいたします。


バックアップ

定期的に本体のハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。最適なバックアップ用ストレージデバイスやバックアップツールについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

クリーニング


装置を良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。


 **警告**



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- リチウム電池を取り外さない
- 電源プラグを差したまま取り扱わない
- 電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない
- 光ディスクドライブの内部をのぞかない

 **注意**



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 高温注意

本体のクリーニング

本体の外観の汚れは、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。



- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、本体背面のコネクタ、本体内部は絶対に水などでぬらさないでください。

1. 本体の電源がOFF（POWERランプ消灯）になっていることを確認する。
2. 本体の電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 汚れた部分を手順4.の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。
8. 乾いた布で本体背面にあるファンの排気口に付着しているほこりをふき取る。

キーボード/マウスのクリーニング

キーボードは本体および周辺機器を含むシステム全体の電源がOFF（POWERランプ消灯）になっていることを確認した後、キーボードの表面を乾いた布で拭いてください。
マウス裏の光センサ部が汚れている場合は、乾いた布または綿棒で拭き取ってください。

ディスクのクリーニング

ディスクにほこりがついていたり、トレーにほこりがたまっていたりするとデータを正しく読み取れません。次の手順に従って定期的にトレー、ディスクのクリーニングを行います。

1. 本体の電源がON（POWERランプ点灯）になっていることを確認する。
2. 光ディスクドライブ前面のオープン/クローズボタンを押す。
トレーが光ディスクドライブから出てきます。
3. ディスクを軽く持ちながらトレーから取り出す。



ディスクの信号面に手が触れないよう注意してください。

4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。

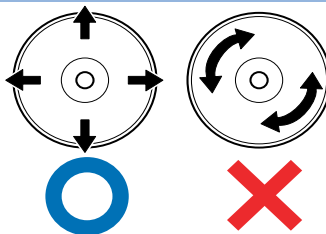


光ディスクドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因となります。

5. オープン/クローズボタンを押して（またはトレーを軽く押して）トレーを光ディスクドライブに戻す。
6. ディスクの信号面を乾いた柔らかい布でふく。



ディスクは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナをお使いになるときは、専用のクリーナであることを確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなったり、装置にそのディスクをセットした結果、故障したりするおそれがあります。



システム診断

システム診断は装置に対して各種テストを行います。
「ユーザーズガイド」CDの「Tool Menu」から「Test and diagnostics」を選択して診断してください。

システム診断の内容

システム診断には、次の項目があります。

- 本体に取り付けられているメモリのチェック
- CPUキャッシュメモリのチェック
- システムとして使用されているハードディスクドライブのチェック



システム診断を行う時は、必ず本体に接続しているLANケーブルを外してください。接続したままシステム診断を行うと、ネットワークに影響をおよぼすおそれがあります。



ハードディスクドライブのチェックでは、ディスクへの書き込みは行いません。

システム診断の起動と終了

次の手順でシステム診断を起動します（本体が運用中の場合はシャットダウンし、再起動できる状態にした後で手順1.～12.を行ってください）。

1. シャットダウン処理を行った後、本体の電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。
2. 本体に接続しているLANケーブルをすべて取り外す。
3. 電源コードをコンセントに接続し、本体の電源をONにする。
4. 「ユーザーズガイド」CDを使ってシステムを起動する。
5. 「Tool menu」を選択する。



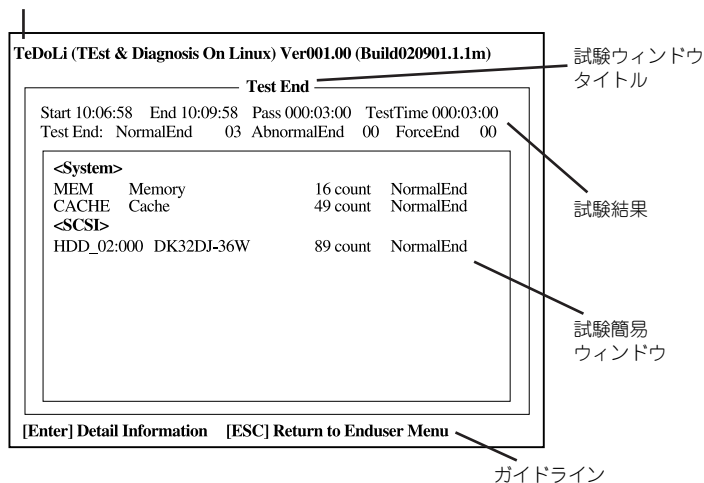
システムによっては、Language selectionメニューが表示される場合があります。Language selectionメニューが表示された場合は「Japanese」を選択します。

6. TOOL MENUの「Test and diagnostics」を選択する。

Test and diagnosticsの「End-User Mode」を選択してシステム診断を開始します。約3分で診断は終了します。

診断を終了するとディスプレイ装置の画面が次のような表示に変わります。

試験タイトル



試験タイトル

診断ツールの名称およびバージョン情報を表示します。

試験ウィンドウタイトル

診断状態を表示します。試験終了時にはTest Endと表示します。

試験結果

診断開始・終了・経過時間および終了時の状態を表示します。

ガイドライン

ウィンドウを操作するキーの説明を表示します。

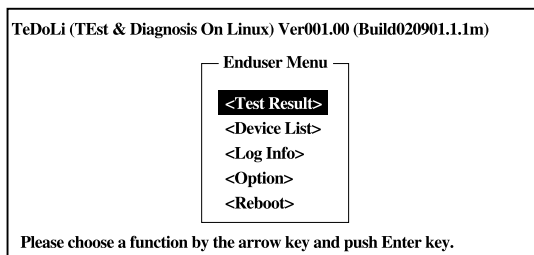
試験簡易ウィンドウ

診断を実行した各試験の結果を表示します。カーソル行で<Enter>キーを押すと試験の詳細を表示します。

システム診断でエラーを検出した場合は試験簡易ウィンドウの該当する試験結果が赤く反転表示し、右側の結果に「Abnormal End」を表示します。

エラーを検出した試験にカーソルを移動し<Enter>キーを押し、試験詳細表示に出力されたエラーメッセージを記録してお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。

7. 画面最下段の「ガイドライン」に従い<Esc>キーを押す。
以下のエンドユーザーメニューを表示します。



<Test Result>

前述の診断終了時の画面を表示します。

<Device List>

接続されているデバイス一覧情報を表示します。

<Log Info>

試験ログを表示します。試験ログを保存することができます。

試験ログを保存する場合は、FATフォーマット済みのリムーバブルメディアをセットし、<Save(F)>を選択してください。

<Option>

オプション機能が利用できます。

<Reboot>

システムを再起動します。

8. 上記エンドユーザーメニューで<Reboot>を選択する。
再起動し、システムが「ユーザズガイド」CDから起動します。
9. 「ユーザズガイド」CDを終了し、光ディスクドライブからCDを取り出す。
10. 本体の電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。
11. 手順2.で取り外したLANケーブルを接続し直す。
12. 電源コードをコンセントに接続する。

以上でシステム診断は終了です。

障害時の対処

「故障かな?」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することからある場合は、説明に従って正しく対処してください。

エラーメッセージ

本体になんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

POST中のエラーメッセージ

本体の電源をONにすると自動的に実行される自己診断機能「POST」中に何らかの異常を検出すると、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示します。また、エラーの内容によってはピーブ音でエラーが起きたことを通知します。

メッセージ例（キーボードエラー）

```
Phoenix BIOS 4.0 Release 6.0.00XX
:
CPU=Pentium 4 XXX MHz
0640K System RAM Passed
0127M Extended RAM Passed
0211 Keyboard error
:
Press <F1> to resume, <F2> to setup
```

次にエラーメッセージの一覧と原因、その対処方法を示します。



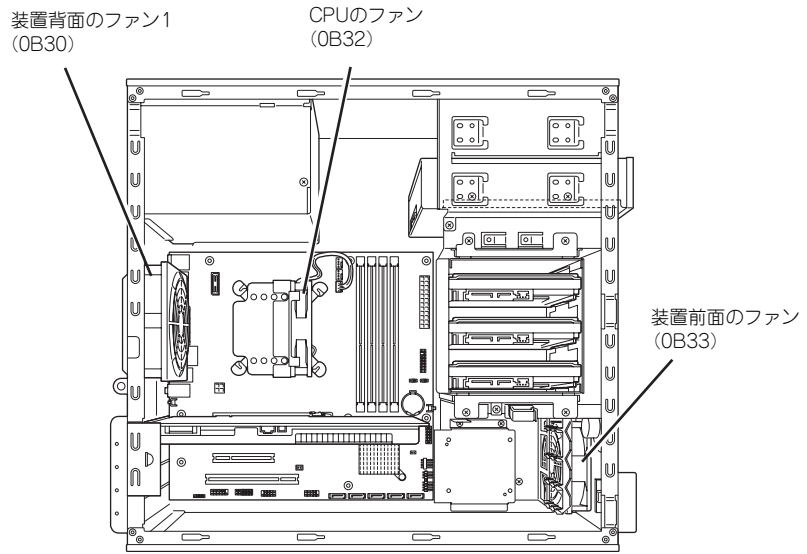
保守サービス会社に連絡するときはディスプレイの表示やピーブ音のパターンをメモしておいてください。アラーム表示は保守を行うときに有用な情報となります。



POSTのエラーメッセージ一覧は本体のみのもので、マザーボードに接続されているオプションのSCSIコントローラボード、またはディスクミラーリングコントローラなどのオプションボードに搭載されているBIOSのエラーメッセージとその対処方法についてはオプションに添付の説明書を参照してください。

エラーメッセージ		意味	対処方法
0200	Failure Fixed Disk	ハードディスクドライブエラー。	保守サービス会社に連絡してください。
0210	Stuck Key	キーボード接続エラー。	キーボードを接続し直してください。
0211	Keyboard error	キーボードエラー。	<ul style="list-style-type: none"> ● キーボードを接続し直してください。 ● 再起動してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0212	Keyboard Controller Failed	キーボードコントローラエラー。	
0250	System battery is dead - Replace and run SETUP	システムのバッテリーがない。	保守サービス会社に連絡してバッテリーを交換してください。コンピュータを再起動後、SETUP を起動して設定し直してください。
0251	System CMOS checksum bad Default configuration used	システム CMOS のチェックサムが正しくない。	デフォルト値が設定されました。SETUP を起動して、設定し直してください。
0260	System timer error	システムタイマーエラー。	保守サービス会社に連絡してください。
0270	Real time clock error	リアルタイムクロックエラー。	
0271	Check date and time setting	リアルタイムクロックの時刻設定に誤りがある。	SETUP を起動して、時刻や日付を設定し直してください。設定し直しても同じエラーが続けて起きるときは保守サービス会社に連絡してください。
02D0	System cache error - Cache disabled	システムキャッシュエラー。	キャッシュを使用できません。保守サービス会社に連絡してください。
0B20	NVRAM cleared by jumper	CMOS クリア用ジャンプスイッチによって BIOS 情報がクリアされた。	CMOS クリア用ジャンプスイッチを元の位置に戻してください。SETUP を起動して設定し直してください。
0B21	Password Cleared by Jumper	パスワードクリア用ジャンプによってパスワードがクリアされた。	パスワードクリア用ジャンプを元に戻してください。
0B28	Unsupported CPU detect on CPU Socket1	サポートしていない CPU が CPU#1 のソケットに取り付けられている。	保守サービス会社に連絡して本装置がサポートしている CPU と交換してください。
0B30	FAN1 Alarm occured	装置背面のファン 1 異常。	ファンの目詰まりをチェックして、ほこりが付着しているようであれば取り除いてください。異常が見当たらない場合や清掃しても直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
0B32	FAN3 Alarm occured	CPU ファン異常。	
0B33	FAN4 Alarm occured	装置前面ファン異常。	
0B60	DIMM1 has been disabled	メモリエラーを検出。DIMM1 が縮退している。	保守サービス会社に連絡してください。
0B61	DIMM2 has been disabled	メモリエラーを検出。DIMM2 が縮退している。	保守サービス会社に連絡してください。
0B62	DIMM3 has been disabled	メモリエラーを検出。DIMM3 が縮退している。	保守サービス会社に連絡してください。
0B63	DIMM4 has been disabled	メモリエラーを検出。DIMM4 が縮退している。	保守サービス会社に連絡してください。
0B6F	DIMM with error is enabled	全メモリでエラーを検出。	保守サービス会社に連絡してください。
0B70	The error occurred during temperature sensor reading	温度異常を検出する途中にエラーを検出した。	保守サービス会社に連絡してください。
0B71	System Temperature out of the range	温度異常を検出した。	一度電源を OFF にして、各ファンの目詰まりをチェックして、ほこりが付着しているようであれば取り除いてください。異常が見当たらない場合や清掃しても直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

エラーメッセージ		意味	対処方法
0B74	The error occurred during voltage sensor reading	電圧を検出中にエラーが起きた。	保守サービス会社に連絡してください。
0B75	System voltage out of the range	システムの電圧に異常を検出した。	
0B78	The error occurred during fan sensor reading	ファンセンサのリード中にエラーが起きた。	保守サービス会社に連絡してください。
0BB1	"SMBIOS - SRAM data checksum bad."	SRAMのデータチェックサムエラー。	保守サービス会社に連絡してください。
Expansion ROM not initialized		PCIカードの拡張ROMが初期化されない。	PCIボードの取り付け状態を確認してください。または、SETUPを起動し、[Advanced]メニューの[PCI Configuration]で、起動に必要なないPCIボードに対する拡張ROM(Optional ROM)の設定を無効にしてください。ディスクミラーリングコントローラを搭載しているときにこのエラーが発生した場合は、SETUPを起動し、[Advanced]メニューの[PCI Configuration] - [Onboard LAN Device]の[Option ROM Scan]を「Disable」にしてください。
Invalid System Configuration Data		システムを構成しているデータが破壊されている。	保守サービス会社に連絡してください。
PCI System Error on Bus/Device/Function		バス / デバイス / ファンクションでPCIシステムエラーが発生した。	
PCI Parity Error on Bus/Device/Function		バス / デバイス / ファンクションでPCIパリティエラーが発生した。	
Resource Conflict		PCIカードのリソースが正しくマッピングされていない。	
System Configuration Data Read error		システムを構成しているデータのリードエラー。	
System Configuration Data Write Error		システムを構成しているデータのライトエラー。	
The System chassis has been opened.		レフトサイドカバーが開いたままになっている。	
WARNING: IRQ not configured		PCIカードの割り込みが正しく設定されていない。	保守サービス会社に連絡してください。



トラブルシューティング

思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従って本装置をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

本体について

【?】電源がONにならない

- 電源が本体に正しく供給されていますか？
 - 電源コードが本体の電源規格に合ったコンセント（またはUPS）に接続されていることを確認してください。
 - 本体に添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
 - 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
 - UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付の説明書を参照してください。
また、BIOSセットアップユーティリティでUPSとの電源連動機能の設定ができます。
<確認するメニュー：「System Hardware」→「AC-LINK」>
- POWER/SLEEPスイッチを押しましたか？
 - 本体前面にあるPOWER/SLEEPスイッチを押して電源をON（POWERランプ点灯）にしてください。

【?】電源コードを接続したら自動的に電源がONになり、すぐにOFFになった

- 装置の正常な動作です。
 - 本装置では、電源コードを接続後、AC電源を受電すると自動的にいったん電源がONになり、2～3秒後にOFFになります。これは装置の仕様で故障ではありません。

【?】画面が出ない・ビープ音が鳴る

- メモリを搭載していますか？ 確実に実装されていますか？
 - 最低1枚のDIMMが搭載されていないと動作しません。
DIMMの仕様については44ページの「DIMM」を参照してください。
- オプションのグラフィックスアクセラレータは正しく取り付けられていますか？ また、ケーブルが確実に接続されていますか？
 - ケーブルの接続状態およびオプションのグラフィックスアクセラレータボードの取り付け状態を確認してください。

【?】 POSTのメモリカウントやBIOSセットアップメニュー、OSのシステム情報で表示されるメモリ容量が物理メモリと一致しない

- 搭載しているPCIボードなどの構成によっては、実際に搭載している総物理メモリ容量より少なく表示される場合があります。故障ではありません。ただし、メモリを増設しても以前と情報が変わっていなかったり、普段の容量よりも少なくなっていたりした場合は、DIMMの故障が考えられます。
- * OSがサポートする最大メモリ容量と利用可能なメモリ容量について
 - OSがサポートする最大メモリ容量は下記の使用OSの項を参照してください。
 - また、チップセットの仕様などによりPCIリソース領域としてメモリを使用するため、実際に使用できるメモリ容量は搭載メモリ容量よりも少なくなることがあります(搭載するPCIカードの種類/枚数によって多少変動します)。下記の対応表を参照してください。

使用OS	本体搭載メモリ容量と使用可能メモリ容量 (最大搭載メモリ容量: 4GB)	
OSの最大サポートメモリ容量: 4GB Microsoft Windows XP Professional	搭載メモリ容量: ~ 2.5GB 使用可能メモリ容量: 搭載メモリ容量と同じ	搭載メモリ容量: 2.5GB ~ 4GB 使用可能メモリ容量: 約 2.5GB ~ 3.3GB

- なお、SETUPを起動して「Advanced」メニューの「Memory Configuration」の「Available under 4GB」に表示されているメモリ容量が利用可能なメモリ容量になります。

【?】 POSTが終わらない

- 大容量のメモリを搭載していますか?
 - 搭載しているメモリサイズによってはメモリチェックで時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
- 起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか?
 - 起動直後にキーボードやマウスを操作すると、POSTは誤ってキーボードコントローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときはもう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセージなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意してください。
- 本体で使用できるメモリ・PCIデバイスを搭載していますか?
 - 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

【?】 ブルー画面 (STOPエラー画面) で電源OFFできない

- 一度押しでは電源OFFはできません。
 - ブルー画面で電源をOFFにする時は、強制電源OFF (電源スイッチを4秒以上押し続ける) を行ってください。



プロセッサが異常高温になると、高価な部品を保護するための回路が作動します。この場合、システムはリセット状態となるため、POWER/SLEEPスイッチによる電源制御ができなくなります。電源コードを抜いて、電源をOFFにし、運用環境 (周囲温度など) を確認した後、しばらくしてから再度、電源コードを接続し、電源をONする必要があります。なお、プロセッサが冷却されるまでの間 (通常であれば5分程度) は、電源をOFFの状態にしておく必要がある場合もあります。

【?】 内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない（または正しく動作しない）

- ケーブルは正しく接続されていますか？
 - インタフェースケーブルや電源ケーブル（コード）が確実に接続されていることを確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- 電源ONの順番を間違っていないですか？
 - 外付け機器を接続している場合は、外付け機器、本体の順に電源をONにします。
- ドライバをインストールしていますか？
 - 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要な場合があります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストールしてください。
- BIOSの設定を間違えていませんか？
 - PCIデバイスを接続している場合は、本体のBIOSセットアップユーティリティでPCIデバイスに対する設定をしてください。（通常は特に設定を変更する必要はありませんが、ボードによっては特別な設定が必要なものもあります。詳しくはボードに添付の説明書を参照して正しく設定してください。）
<確認するメニュー：「Advanced」→「PCI Configuration」>
 - シリアルポート、USBポートに接続しているデバイスについては、I/Oポートアドレスや動作モードの設定が必要なものもあります。デバイスに添付の説明書を参照して正しく設定してください。
<確認するメニュー：「Advanced」→「Peripheral Configuration」>
- ジャンパは正しく設定されていますか？
 - 接続されている機器にはジャンパ設定が必要なものがありますので添付の説明書を参考に、ジャンパを設定してください。

【?】 キーボードやマウスが正しく機能しない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
 - 本体背面や前面にあるコネクタに正しく接続されていることを確認してください。
 - 本体の電源がONになっている間に接続すると正しく機能しません（USB機器を除く）。いったん本体の電源をOFFにしてから正しく接続してください。
- BIOSの設定を間違えていませんか？
 - 本体のBIOSセットアップユーティリティでマウスを無効にすることができません。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
<確認するメニュー：「Advanced」→「Peripheral Configuration」→「PS/2 Mouse」>
- ドライバをインストールしていますか？
 - 使用しているOSに添付の説明書を参照してキーボードやマウスのドライバがインストールされていることを確認してください（これらはOSのインストールの際に標準でインストールされます）。また、OSによってはキーボードやマウスを設定を変更できる場合があります。使用しているOSに添付の説明書を参照して正しく設定されているかどうか確認してください。

- Secure Modeになっていませんか？
 - Secure Mode中は、キーボード・マウスは機能しません。SETUPで設定したユーザーパスワードを入力してSecure Modeを解除してください。

【?】 ディスクにアクセスできない

- 光ディスクドライブのトレイに確実にセットしていますか？
 - トレイに確実にセットされていることを確認してください。
- 本装置で使用できるディスクですか？
 - CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましても、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
 - Macintosh専用のCD-ROMは使用できません。

【?】 光ディスクドライブ内で媒体の回転音大きい

- いったん、ディスクを取り出し、セットし直してください。
 - 光ディスクドライブのオートバランス機構を再度機能させることで、回転音をおさえます。

【?】 音楽CDを再生できない

- デジタル再生の設定にしていますか？
 - 本装置に標準装備の光ディスクドライブではデジタル再生のみをサポートしています。詳しくは、「ハードウェア編」の「光ディスクドライブ」を参照してください。

【?】 ハードディスクドライブにアクセスできない

- 本体で使用できるハードディスクドライブですか？
 - 弊社が指定する機器を使用してください。
- ケーブルが正しく接続されていますか？
 - ケーブル接続（52ページ）を参照してケーブルを正しく接続してください。

【?】 SCSI機器（内蔵・外付け）にアクセスできない

- 本体で使用できるSCSI機器ですか？
 - 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。
- SCSI機器は正しく取り付けられていますか？
 - SCSI機器の取り付け状態やケーブルの接続状態を確認してください。
- SCSI機器の設定を間違えていませんか？
 - SCSI IDや終端抵抗などの設定が必要です。詳しくはSCSI機器に添付の説明書を参照してください。
- SCSIコントローラの設定を間違えていませんか？
 - オプションのSCSIコントローラボードを搭載し、SCSI機器を接続している場合は、SCSIコントローラボードが持つBIOSセットアップユーティリティで正しく設定してください。詳しくはSCSIコントローラボードに添付の説明書を参照してください。

保守ツール

保守ツールは、本製品の予防保守を行うためのツールです。

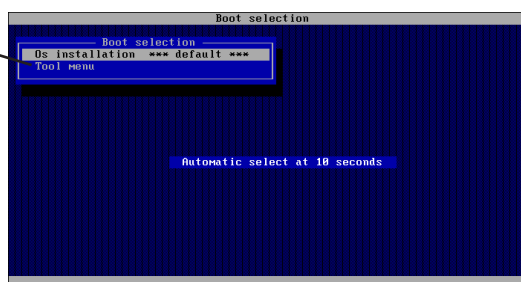
保守ツールの起動方法

次の手順に従って保守ツールを起動します。

1. 周辺機器、Expressサーバの順に電源をONにする。
2. Expressサーバの光ディスクドライブへ「ユーザズガイド」CD媒体をセットする。
3. 媒体をセットしたら、リセットする（<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押す）か、電源をOFF/ONしてExpressサーバを再起動する。

媒体から以下のようなBoot selectionメニューが起動します。

Tool menu:
保守ツールを使用する場合に選択します。



重要

メニューの初期選択は「Os installation」となっています。Boot selectionメニュー表示後、10秒間操作が行われない場合は、「Os installation」が自動で起動します。

4. 「Tool menu」を選択する。

以下に示すツールメニューを表示します。



5. 各ツールを選択し、起動する。

保守ツールの機能

本書内の説明、および各種ツールのメッセージにおいてフロッピーディスクに関する記述がありますが、本製品はフロッピーディスクドライブを内蔵していません。
オプションの Flash FDD を使用するか、USB フロッピーディスクドライブをお持ちの方は USB フロッピーディスクドライブを使用してください。

保守ツールでは以下の機能を実行できます。

- **BIOS/FW Updating**

弊社Webサイトの以下ページで配布される各種BIOS/FW (ファームウェア)のアップデートを使用して、本装置のBIOS/FWをアップデートすることができます。

[サポート情報] <http://www.nec.co.jp/s70/>

各種BIOS/FWのアップデートを行う手順は、配布される「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」に含まれる「README.TXT」に記載されています。記載内容に従ってアップデートを行ってください。「README.TXT」はWindowsのメモ帳などで読むことができます。



重要 BIOS/FWのアップデートプログラムの動作中は本体の電源をOFFにしないでください。アップデート作業が途中で中断されるとシステムが起動できなくなります。

- **ROM-DOS Startup FD**


ROM-DOSシステムの起動用サポートディスクを作成します。


- **Test and diagnostics**

Test and diagnostics（システム診断）では本体上で各種テストを実行し、本体の機能および本体と拡張ポートなどとの接続を検査します。システム診断を実行すると、本体に応じてシステムチェック用プログラムが起動します。91ページを参照してシステムチェック用プログラムを操作してください。

移動と保管

本体を移動・保管するときは次の手順に従ってください。

 **注意**



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 指定以外の場所に設置・保管しない
- 電源プラグを差し込んだままアース線の取り付けや取り外しをしない
- 電源プラグを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない
- 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない



重要

- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ハードディスクドライブに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクドライブを内蔵している場合はハードディスクドライブに衝撃を与えないように注意して本体を移動させてください。

1. CD-ROMをセットしている場合は取り出す。
2. 本体の電源をOFF（POWERランプ消灯）にする。
3. 本体に接続している電源コードをコンセントから抜く。
4. 本体に接続しているケーブルをすべて取り外す。
5. 本体に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

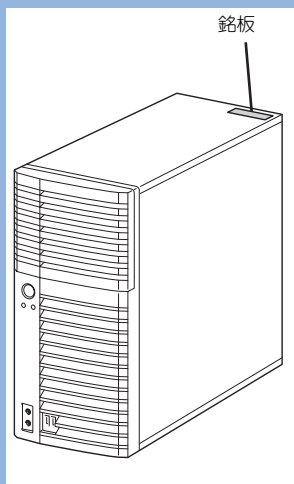
本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。



重要

- NEC製以外（サードパーティ）の製品、またはNECが認定していない装置やインターフェースケーブルを使用したために起きた装置の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本体に、製品の形式、SERIAL No. (号機番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。



修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、以下の手順を行ってください。

1. 電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「障害時の対処 (94ページ)」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
3. 本装置を操作するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
4. 市販のウィルス検出プログラムなどで装置をチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りの弊社または保守サービス会社にご連絡ください。その際に装置のランプの表示やディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先については、付録の「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。



この装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- 保証書
- ディスプレイ装置に表示されたメッセージのメモ
- 本体・周辺機器の記録

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスは弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心のうえ、ご都合に合わせてご利用いただけます。

※ お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談やトラブルなどについてのお問い合わせは下記までご連絡ください（電話番号のおかけ間違いにご注意ください）。

【IT機器の修理窓口】

修理受付センター（全国共通）
0120-536-111（フリーダイヤル）

携帯電話をご利用のお客さまは、
0570-064-211（通話料お客さま負担）

受付時間：月曜日から金曜日午前9時から午後6時
（土・日・祝日および当社規定の休日を除く）
全国共通の電話番号です。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

情報サービスについて

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800 (代表)

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日 (祝祭日を除く)

お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS)」の申し込みに関するご質問・ご相談は「エクスプレス受付センター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

エクスプレス受付センター
TEL. 0120-22-3042

受付時間/9:00~17:00 月曜日~金曜日 (祝祭日を除く)

インターネットでも情報を提供しています。

<http://www.nec.co.jp/s70/>

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

<http://club.express.nec.co.jp/>

『Club Express』:『Club Express会員』への登録をご案内しています。Express5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介します。

<http://www.fielding.co.jp/>

NECフィールディング (株) ホームページ: メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。